ふかまちのまど

第三五九号　二〇四年　四月　一日
発行元　深町連合町内会
連絡先　☎六三-三九二二

「ふかまちのまどホームページのアドレスは」
http://www.jcat.ne.jp/~fuka/top.html

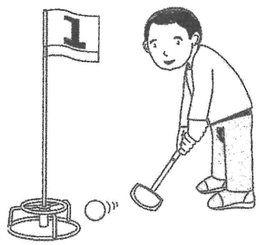
連合町内会活動報告

第36回三原市グラウンドゴルフ選手権大会

担当　頼兼　義詔

生涯スポーツ推進の一環として、健康づくりと安全で身近なスポーツを楽しむために本大会は毎年開催されています。

雨が続き大会の開催を心配していましたが、晴天に恵まれ、3月13日（水）やまみ三原運動公園にて、行われました。



本大会は、各1チーム（3名）の団体戦で、1～24ホール（8ホールを3コース）の合計打数で競技され、順位を決定します。

私たちの深町地区も、日頃練習しているメンバーを中心に、3チーム（9名）エントリーしました。

当日は、久井（2）、大和（4）、本郷（12）、三原（73）のチーム、273名の参加で行われ、私達深町チームは入賞をめざしてがんばりましたが、残念な結果になりました。

ホールインワン賞は、次の方々です。

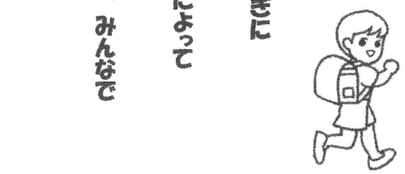
林　洋祐
向井　安富

参加して頂いた方々、寒い中お疲れ様でした。

深町子どもを守る会

子どもをみんなで守りましょう。

深小の子供は



○午後三時半過ぎに下校します。
下校時間は日によって異なります。
○近くで、遠くで、みんなで見守りましょう。
○あいさつ声かけをしましょう。

深小だより

新年度を迎えて

三原市立深小学校
校長　山田　浩美

三月二十一日（木）、「第七十七回　三原市立深小学校卒業証書授与式」を行いました。全校児童が力を合わせて植え、育てたパンジーの花々にも見守られながら、七名の卒業生がそれぞれの進路に向かって胸を張って巣立っていきました。また、二十五日（月）には、修了式を行い、令和五年度を無事に終えることができました。

この一年間、学校教育活動にいつも温かくご支援・ご協力いただきました地域や保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。

さて、四月一日からは新年度の始まりとなります。この度の人事異動で、職員の異動がありましたので、お知らせいたします。

◇　転出する職員

教頭　鉄本　光
三原市立幸崎小学校へ

教諭　兼丸　千聖
広島市立戸坂小学校へ

養護教諭　髙橋　紅音
府中市立上下中学校へ

◇　転入する職員

教頭　富本　利枝
世羅町立せらにし小学校
教諭より昇任

教諭　土居　延匡
三原市立幸崎小学校より

教諭　髙橋　玖美
庄原市立小奴可小学校より

養護教諭　松岡　杏奈
新規採用

今年度は、新入学児童三名の予定です。四月九日の入学式を全校児童、教職員ともに楽しみにしているところです。「課題発見・解決力」「思考力・判断力・表現力」「主体性」を高めるべく、さらに豊かな教育活動が推進できるように「チーム深」として取り組んでまいりたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

第二中学だより

中学校生活を振り返って

北迫　啓太

私が中学校3年間で成長したことは、目標をたててそれに向かって努力ができる力がついたことです。

私は、3年間ソフトテニスをして、県大会出場をずっと目標にしており、そのために1年生から努力をして、3年生の最後の大会で県大会に出れました。

高校でも頑張ります。

坂本　智那

僕が、中学校で成長したことは、何事も計画を立てるようになったことです。今までは、計画を立てず、やることが分からなくなっていたけれど、計画を立てるようになって、何をするのか分からなくなることはなくなり、取り組むスピードが速くなりました。このことを生かして今後も生きていこうと思います。

谷口　華音

この中学3年間では、沢山の経験をすることができました。

入学するときは、友達ができるか凄く不安だったけれど、二中には、優しくて、あたたかい人たちが沢山いて、そんな人たちの中で、楽しいこと、辛いこと、を通して笑いあえた日々は、私にとってかけがえのない思い出です。

この3年間を大切に、新しい環境でも、自分らしく新しい出会いを大切に頑張っていきます。

ラッパ水仙

スイセン属

多年草で、冬から春にかけて白や黄の花を咲かせるものが多い。草丈は、品種・環境によるが、15-50センチメートル（㎝）程度である。全体に有毒

開花期は12月から翌年5月頃のあいだ。葉の間からつぼみをつけた花茎が伸び、伸びきるとつぼみが横向きになり、成熟するとつぼみを覆っていた苞を破って華が開く。典型的なスイセンの花の場合、雌蕊（しずい）は1本、雄蕊（ゆうずい）は6本。6枚に分かれた花びらと、中心に筒状の花びらを持つが、6枚に分かれている花びらのうち、外側3枚は萼（がく）であり、内側3枚のみが花弁である。二つをあわせて花被片（かひへん）といい、それ以外に、中心にある筒状の部分は副花冠（ふくかかん）という。花被片・副花冠の形状と花の着き方により、品種を区別する。花は、花茎の先端に数個、散状につき、良い芳香がある。

謹んでお悔やみ申し上げます

森本　スミエ　様　八十四歳
（中組　東峠講）　一月二十二日

深町各種団体四月行事予定

◆連合町内会
▼定期総会　21日

◆上・中・下町内会
▼定期総会　7日

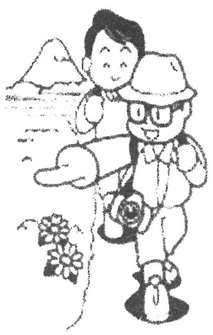
◆小学校
▼就任式、始業式、給食開始　8日
▼入学式
▼給食開始（1年）　9日
学区児童会　委員会活動　10日
▼内科健診　15日
▼全国学力・学習状況調査　18日
▼学習環境調査　23日
▼参観日、学級懇談会、PTA役員決め　19日
▼眼科健診　26日

◆如水館中学・高校
▼始業式　8日
▼入学式　9日
▼身だしなみチェック（中）　10日
身だしなみチェック（高）　16～17日
▼胸部レントゲン　16・17日
授業参観日・保護者会（中）
▼全国学力調査（中3）　17日
眼科検診
進研4月記述模試（高）　18・19日
▼個別就職相談会希望願締切　24日
▼体育祭予行演習　25日
▼河合塾全統共通テスト模試（高）　26日
▼体育祭　29日
▼体育祭予備日　30日
河合塾全統模試（高）

歩く会にご参加を

歩く会幹事
石井　堂熙

世羅郡甲山町 甲山ふれあいの里



月　日　4月2日（火）
予備日　4日（木）

行程
9時00分　深町中組町民会館発（車）
10時00分　甲山ふれあいの里（桜）
探訪開始
12時00分　探訪終了　昼食
13時30分　深町中組町民会館着（車）

※入場料金の一部負担をお願いします。

如水館中学高校だより

大学受験を終えて

藤井　由香莉

私は広島大学理学部生物科学科に進学することになりました。

深小学校在学中に将来の選択肢を増やすために勉強を頑張りたいと思うようになり、如水館への進学を決めました。如水館中学校に入ればレベルの高い環境に自分を置くことで意欲的に勉強に取り組めると考えたからです。実際に中学3年間では私と同じような志を持った仲間に多く出会い、お互いに高め合いながら学習をすることができました。また部活動や生徒会活動などの経験もさせていただき、大きく成長することができたと思っています。

さらに高校に進むと、生物の授業で学んだ免疫に興味をもち、そこから大学で生命科学を学びたいと思うようになりました。進路選択にあたって生命科学という学問領域にこだわりすぎてしまう節がありましたが、担任・副担任の先生、面談担当の先生方にアドバイスをいただき、狭まっていた進路の幅が徐々に広がり、最終的に生物を広く学べる生物科学科のある広島大学を受験することを決めました。受験勉強は大変でしたが、同じ目標を持つ仲間の頑張る姿が身近にあり、また深小学校のときのクラスメイトで中学・高校と学校が違う友達とも、学習を記録するアプリ上で繋がっていて常にいい刺激をもらっていました。分からないことや悩んでいることは些細なことでも相談すると親身になって聞いてくださる先生方がおり、自分が行動に移しさえすれば全力でサポートしてもらえる環境がありました。特に広大受験の直前は休日も学校の自習室に通っており、自分よりも早くから来て勉強している友達もいれば、教科ごとに自分の答案を添削してくださる先生もいらっしゃり、やるべきことを全てやり尽くして受験に臨むことができました。

深小学校でも如水館でも主体的に学ぶ生徒を応援してくれる環境があります。私は小学1年生から高校3年生までの12年間の出会いと環境に感謝しています。

八重水仙

TBG協会だより

三原市・月例 ターゲットバードゴルフ大会

三原市TBG月例大会が、3月16日（土）に15名の参加で深町・城山コースにて行われました。

成績は、次の通りです。

1位　山内　好己
2位　谷岡　義昭
3位　船本　雄三

ベスグロ69　船本　雄三

2人組戦1位　田中　好康
谷岡　義昭
井上　キヨコ
船本　雄三

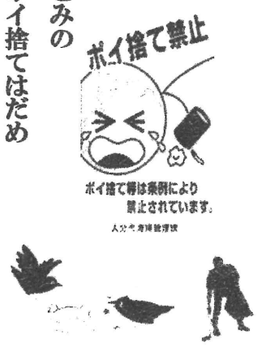
（同スコアの為、1位が2組となりました）

ホールインワン　田中　好康

※選手の敬称略

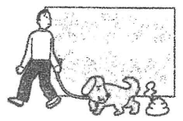
次回の月例大会は、4月20日（土）に、行います。

TBG協会
事務局　山内　好己



ごみの
ポイ捨てはだめ
ごみのない
きれいなまちに

犬のフンは
飼い主が
責任を持って持ち帰りましょう！



飼い主のモラルに期待します。

自転車の悪質な交通違反 反則金制度の導入検討へ

警察庁

自転車の悪質な交通違反が後を絶たないことから、警察庁は、自動車やオートバイのようにいわゆる「青切符」による取締りを行う反則金制度の導入を検討することになりました。

実効性のある取締りにつなげるのが狙いで、導入されれば、身近な交通手段のあり方の大きな転換点となります。

警察庁によりますと、全国の交通事故の発生件数は減少傾向にありますが、自転車が関係する事故の占める割合は増加傾向が続いていて、自転車と歩行者の事故件数も増加しています。

さらに、去年全国で発生した自転車が関係する死亡・重傷事故のうち、73％余りで自転車側に交通違反があったということです。

事故につながる違反を減らすことが課題になるなか、自転車の取締りは、刑事罰の対象となる交通切符、いわゆる「赤切符」を交付するなどして行われているものの、実際に罰則が適用されるケースは少なく、専門家などからは責任の追及が不十分だという指摘もありました。

こうした状況を受けて、警察庁は、自動車やオートバイのようにいわゆる「青切符」による取締りを行う反則金制度の導入を検討することになりました。

実効性のある取締りにつなげるのが狙いで、月内にも有識者で作る検討会を設けて、取締りの対象とする違反の内容や年齢など具体的な議論を始めることにしています。

検討会では、あわせて、自転車の交通ルールをどのように周知するかや、自転車が安全に走行できる道路環境などについても議論し、年内に提言を取りまとめる予定です。

警察庁は提言の内容を踏まえ、2024年の通常国会での法改正を視野に準備を進めることにしていて、反則金制度が導入されれば、身近な交通手段のあり方の大きな転換点となります。

自転車の交通違反の取締りは、多くは罰則を伴わない専用のカードを使った「警告」が行われるのが現状で、去年は全国でおよそ131万件でした。

悪質な違反には交通切符、いわゆる「赤切符」が交付され、刑事罰の対象として検察庁に送られることになっていて、去年全国で「赤切符」などで検挙されたのは2万4549件でした。

ただ、多くの違反者は不起訴となり、実際に罰則が適用されるケースは少ないということです。

自動車やオートバイのほか、先月から新たな制度が始まった電動キックボードには、反則金を課す「交通反則通告制度」がありますが、自転車にはありません。

国の検討会はおおとしまとめた報告書の中で、「自転車の違反に対する責任追及が著しく不十分な状況」として、「違反金を課すなど違反を抑える実効性のある方法の検討が必要だ」などと指摘していました。

では、自転車に反則金の制度が導入されると、どう変わるのでしょうか。

取締りを受けた違反者には反則切符、いわゆる「青切符」が交付され、期限内に反則金を納付することになります。

納付しないと刑事罰の対象として扱われることになります。

また、自転車には運転免許がないため、電動キックボードと同じように違反点数は設けられないものとみられます。

現在の「警告」と「赤切符」に加えて、新たに反則金の制度を導入することで警察庁は実効性のある取締りにつなげたい考えです。

今回、反則金制度の導入を検討する背景には、交通事故の件数が減少傾向にあるなかで、自転車の交通違反が事故につながるケースが相次いでいることがあります。

警察庁によりますと、自動車の交通ルールの浸透や事故を回避する技術の進歩などに伴って、自動車の関係する事故は毎年減少を続けています。

その一方で、去年全国で発生した自転車が関係する交通事故は6万9985件と、2年連続で増加しました。

事故全体に占める割合も6年連続で上昇していて、去年は23.3％と同じ方法で統計を取り始めた平成15年以降、最も高くなりました。

さらに、去年全国で起きた自転車が関係する死亡・重傷事故7107件のうち73.2％で前方不注意や信号無視、一時不停止など自転車側に交通違反が確認されたということです。

重大な事故につながる悪質な自転車の違反を減らすことが、喫緊の課題となっています。

一方で、自転車の交通ルールが複雑で、実態にあっていない内容もあるとしたうえで、「取締りの議論だけでなく、複雑すぎるルール自体を見直すことや、自転車がルールを守って快適に走れる道路環境を整備していくことも重要だ」と指摘しました。

青切符の違反行為の対象
対象年齢　16歳以上

信号無視	5,000円	一時不停止	5,000円
右側通行	6,000円	傘差し	5,000円
イヤホン使用	5,000円		
携帯電話使用	12,000円		

など112種類